

県木連担い手育成強化研修の報告について

—31年1月21日、2月4日に 東濃桧品質管理センター拡大研修会—

—31年2月15日に 森林認証（CoC）の現地研修、平行弦トラス加工・組立実演等の総合研修会—

平成30年度の担い手研修の開催については、「ぎふ県木連情報第169号、170号」でお知らせしたところですが、31年1月21日からの開催した3つ研修結果の概要を報告して、31年度の研修につなげたいと思います。

1 1月21日（月）の東濃桧品質管理センター拡大研修会

主管は岐阜県東濃桧品質管理センターで、美濃市の岐阜県森林研究所会議室、岐阜県立森林文化アカデミーの製材棟で実施した。講師は、製材機械メーカーの(株)ヒロタ関係者で、講義内容は「製材機械メンテナンスとその実習」「挽き材実習」についてであった。参加者は、関係者を含めて20人ほどでした。

2 2月4日（月）の東濃桧品質管理センター拡大研修会

主管は岐阜県東濃桧品質管理センターで、美濃市の岐阜県森林研究所会議室、岐阜県立森林文化アカデミーの施設で実施した。講師・講義内容は、岐阜県森林研究所の土肥専門研究員による「木材乾燥について」、同所属の富田囑託員による「木材の強度等について」で実施した。その後、県木連の藤沢副会長による「JAS構造材利用拡大事業について」「合法木材とクリーンウッド法について」の現状報告等があった。参加者は、東濃桧品質管理センターの会員以外の出席もあり20人を超えた。

3 2月15日（金）の県木連担い手育成研修会

主催・主管は岐阜県木材協同組合連合会で、東白川村において東白川村森林組合会議室、東濃ヒノキ白川プレカット協同組合のプレカット工場を会場に、東白川村産東濃桧の森林認証材かつJAS機械等級製材品を使用し、「県木連が開発した平行弦トラス・柱いらずハリーさん」を題材にした総合研修を実施した。

講師・講義内容は、東白川製材協事務局の田口康宏氏がCoC森林認証制度について説明し、次に県木連の藤沢副会長が、JAS構造材利用拡大事業の説明や「合法木材とクリーンウッド法」について説明した。そして、「県木連が開発した平行弦トラス・柱いらずハリーさん」、JAS機械等級製材品を使用し開発途中である「門型フレーム工法：ひのきんぐ」について、NPO法人“WOOD AC”の河本代表からの報告等もあった。

その後、東濃ヒノキ白川プレカット協同組合のプレカット工場において、森林認証材の加工について、工場長の安江正隆氏からお話があり、森林認証普及啓発事業に関わっているLSA代表の河合渉氏よりCoC森林認証制度の分別管理に関する説明があり、その後「県木連が開発した平行弦トラス・柱いらずハリーさん」の組み立て作業の実演が、ぎふ木造平行弦トラス施工支援組合の関係者からあった。

参加者は、プレカット加工業者、JAS製材工場関係者、木材流通業者、行政関係者等30名程で、講義、工場視察、作業実演と総合的な研修となった。（藤沢）



研修講義の状況



実技研修の様子1



実技研修の様子2